

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会  
令和6年度 臨時総会

日時 令和6年12月16日(月)13時～14時20分

会場 Zoomによるオンライン開催

出席 加盟104校中;出席92校、委任状6校、欠席6校

定款第30条(総会の定足数)会員現在数の過半数から出席あり総会開催

Web会議システムでの開催であるため、開始に先立ち出席者の音声または意思表示が即時に出席者へ伝わり、出席者が一堂に会すと同等に適時的確な意見表明が互いに行える状態を確認した。また、議案の審議ではチャット機能、発言もしくは投票機能にて、意思疎通が行えること確認してから審議を開始した。

臨時総会：13時00分～14時20分

#### 報告事項

- 1) 第18回日本臨床検査学教育学会学術大会報告
- 2) 臨地実習指導者講習会
- 3) 教育内容5年毎見直しに向けた事前調査
- 4) タスク・シフト/シェアに関する動画教材
- 5) 永年精励賞
- 6) 委員会及び部会
- 7) 国家試験問題検討委員会
- 8) 役員選考委員会
- 9) 関東・中部・甲信越部会の区分
- 10) 教育内容5年毎見直し事前調査
- 11) 令和7年度 理事会 定時総会日程
- 12) その他

議長及び議事録署名人 選出

#### 議案審議

第一号議案 日本臨床検査振興協議会

第二号議案 令和7-8年度 理事・監事

第三号議案 令和7-8年度 理事長選挙結果

その他

議長解任

## 報告事項

### 1) 第18回日本臨床検査学教育学会学術大会

担当された新潟大学医学部保健学科の富山智香子教授より、以下が報告された。

期間：令和6年8月23日～8月24日

場所：新潟大学医学部保健学科

参加人数：408名 日本臨床検査学教育協議会加盟校教員：240名、学生・大学院生：77名、日本臨床衛生検査技師会会員：8名、招待ご登壇者：10名、協賛団体参加者：65名、上記以外の参加者：8名

### 2) 臨地実習指導者講習会

坂本理事長より、以下が報告された。

令和6年11月19日時点の状況：1912名が修了し、1246施設に在籍

令和6年度末で、施設から最初の1名につき本会から受講費助成は終了

令和7年2月24日、3月2日、4月6日に開催予定、確定次第に公表され、申込は開催日の2ヶ月前から可能

臨地実習を依頼予定の施設で、まだ臨地実習指導者が在籍されていない場合、上記日程と申込み開始日を各校から伝えて頂きたい

### 3) 教育内容5年毎見直しに向けた事前調査

坂本理事長より、以下が報告された。

会員校へメール添付で案内し、会員校専用ページにも掲載済み

日本臨床衛生検査技師会(日臨技)とワーキンググループ(WG)を設け、意見交換中の事項

WG1 臨地実習について

- ・ 新制度の内容から大きい変更の要望は無いが、実施すべき行為、見学すべき行為の微修正を要望したい。特に、肺機能検査。
- ・ 臨地実習指導者が各施設に複数名在籍して欲しい
- ・ 臨地実習ガイドラインの内容、特に様式8の評価基準内容を見直して欲しい

WG2 学内教育について

- ・ 生化学検査学と免疫検査学を合わせて6単位となっているが、分離を要望する
- ・ 国家試験出題基準と教育内容の整合性をとって頂きたい。整合性を整えることが出来れば、新教育内容に準拠した教科書の発行も可能となる
- ・ 教育上必要な機械器具、標本及び模型について、削除希望物品の再調査を会員校へ実施し確定後に削除物品を提案予定

### 4) タスク・シフト/シェアに関する動画教材

坂本理事長より、以下2項目の動画教材が完成し、ダウンロード先を会員校へ再度案内済みであることが報告された。

- ・ 血液成分採血装置を操作する行為
- ・ 運動誘発電位検査、体性感覚誘発電位検査にかかる電極(針電極を含む)の装着及び脱着

#### 5) 永年精励賞

坂本理事長より、顕彰規定 第 3 条に基づき、本年度の顕彰委員が理事会で承認され、坂本理事長より永年精励賞について、推薦状の内容を確認後に授与されることが報告された。

#### 委員会及び部会報告

##### 調査研究委員会

令和 6 年度 調査研究委員会アンケート調査『令和 5 年度 卒業者・修了者の進路状況および令和 6 年度入学状況』のアンケート調査結果を会員校へ配信し、会員校専用ページへ掲載済

##### 地区部会委員会

近畿中国四国部会:令和 6 年 9 月 11 日第 1 回近畿中国四国部会役員会(ウェブ会議)、北海道東北部会:令和 7 年 1 月 31 日第 48 回北海道・東北部会総会(ウェブ会議)の開催が報告された。

##### 編集委員会

- ・ 第 17 巻 1 号を編集中であり、第 18 回日本臨床検査学教育学会学術大会の講演・教育シンポジウム等が含まれることが報告された。

##### 研修委員会

- ・ 教員研修の開催方法について、先に実施したアンケート結果を参考に、総会と別日程として令和 6 年度末の開催に向けて準備を進めている。
- ・ 教員研修の録画と公開は講師の承諾を得られた場合、研修内容を会員限定で公開する。

##### 国家試験対策委員会

- ・ 令和 6 年度模擬試験へ申し込みは 79 施設より 3867 部あり、前年度より 1 施設増え 71 部増加したと報告された。
- ・ 令和 7 年度模擬試験の問題作成と編集者の選出は、従来のアンケートによる希望者と科目別分科会での選出の併用で実施を予定する。
- ・ 科目別分科会から選出がない場合は従来のやり方で募集予定と共に、令和 7 年度スケジュールが報告された。

##### 学会運営委員会

##### 第 19 回日本臨床検査学教育学会学術大会

廣畑聡大会長より、以下の開催概要紹介に加え、ホームページ公開が 1 月予定と報告があった。

大会長:	廣畑 聡	岡山大学(教授)
副大会長	勝田 仁	九州大学(教授)
実行委員長	佐藤康晴	岡山大学(教授)
副実行委員長	勝山恵理	岡山大学(准教授)
事務局長	渡辺彰吾	岡山大学(教授)
副事務局長	後藤和義	岡山大学(准教授)
協議会事務局	小野川 傑	日本臨床検査学教育協議会(常務理事)

期 日: 令和 7 年 8 月 21 日~8 月 22 日 (2 日間)

会場: 岡山大学医学部保健学科(岡山県岡山市北区鹿田町 2 丁目 5-1)

学会テーマ 「臨床検査の未来に灯火を一挑戦する若手活躍の場」

## 1 日目

開会式

開会挨拶 理事長 坂本秀生

10：10-11：40 基調講演：頼りになる臨床検査技師を育てる卒前・卒後教育(仮)

12：00-13：00 ランチョンセミナー

13：30-15：00 シンポジウム：新カリキュラムについて (仮)

13：30-16：20 一般演題 (大学院生、学部)

15：15-16：50 シンポジウム：科学研究費と研究の推進について (仮)

17：00-18：00 科目別分科会

## 2 日目

9：00-11：20 一般演題(教員、学部)

11：20-12：20 特別講演：生涯教育・医療現場教育について (仮)

12：30-13：20 ランチョンセミナー

13：30-15：00 シンポジウム：若手教員の活躍する場：教育と研究 (仮)

15：00-16：00 ワークショップ：臨地実習前技能到達度評価実施の現状と今後(仮)

16：00-15：30 優秀演題表彰式

16：30-17：00 大会長挨拶

閉会式

閉会挨拶 理事長 坂本秀生

次期大会長挨拶 副大会長 勝田 仁 (九州大学)

## 以後の開催予定

坂本理事長より、第20回以降の日本臨床検査学教育学会学術大会が以下と報告された。

### 第20回日本臨床検査学教育学会学術大会

大会長：勝田 仁 (九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野)

期日：令和8年8月27日(木)～28日(金)

### 第21回日本臨床検査学教育学会学術大会

大会長：石井直仁 (北里大学医療衛生学部医療検査学科) 期日：令和9年(予定)

期日：令和9年(予定)

### 第22回日本臨床検査学教育学会学術大会

開催校：東北大学

期日：令和10年(予定)

## 学術委員会

坂本理事長より、以下が報告された。

- ・ 令和6年度活動報告(～12/1)
- ・ 令和6年度科目別分科会開催(令和6年8月23日 於：新潟大学)、11分科会が会場で実施。
- ・ 第1回学術委員会を開催(第1回令和6年11月14日 オンライン)。

## 臨地実習前技能修得到達度評価についての検討

- ・ 各分科会での検討結果を第1回学術委員会にて情報共有し、方向性を確認した。
- ・ 評価については最終的には全校で統一し、第三者評価を行うことを目指し準備する。評価項目については臨地実習で必ず実施させる行為を本評価のA項目として評価項目は変えずに進めていくこと、全国統一評価になるよう「チェックリスト」作成してはどうか。各分科会で評価内容のスリム化について検討すること。など情報共有した。

令和6年度分科会会長・副会長(R7.8まで)変更について(11/19現在)

<生体検査> (旧) (新)  
 会長：所司睦文(京都橘大学) ⇒ 植松明和(大東文化大)  
 副会長：刑部恵介(藤田医科大) ⇒ 青柳ますみ(東洋公衆衛生学院)  
 和田晋一(神戸学院大) ⇒ 小野澤裕也(麻布大)  
 泉礼司(倉敷芸術科学大) ⇒ 浦みどり(神戸常盤大)  
 芝崎翔平(杏林大)

<一般検査> (旧) (新)  
 会長：大崎博之(神戸大) ⇒ 岡田茂治(埼玉県立大)  
 副会長：岡田茂治(埼玉県立大) ⇒ 坂口みどり(九州医学技術専門学校)  
 中村彰宏(天理大)

#### 6) 国家試験問題検討委員会

坂本理事長より、令和7年2月実施の第71回臨床検査技師国家試験に際し、山藤副理事長を委員長として国家試験問題検討委員会発足し、国家試験の出題内容について検討を行うことの報告と試験後の協力依頼があった。

#### 7) 役員選考委員会

松下委員長より、以下の報告と説明があった。

1. 現理事から任期満了に伴う退任5名について養成校種別、所属地域、男女比を元に選考。
2. 現監事1名が任期満了に伴う退任のため、1名について選考。
3. 理事長選挙の実施
  - ① 令和6年10月1日に代表理事選挙に関する案内を会員校宛てにメール送信。
  - ② 令和6年10月11～25日立候補受付。この間に議決権者登録の情報を会員校から収集。
  - ③ 令和6年11月5日に理事長候補者について公示を実施した。
  - ④ 令和6年11月18日に議決権者宛て電子投票に必要な情報をメールにて送付した。
  - ⑤ 令和6年11月26日から29日までの4日間を投票期間として選挙を実施。
  - ⑥ 令和6年11月29日に投票締切。投票率は87.5%(議決権104校中の91校から投票)と議決権者3分の2以上を超え、選挙(信任投票)成立。

#### 8) 関東・中部・甲信越部会の区分

関東・中部・甲信越部会は会員校が50校以上と会員校の半分ほどが所属し、区分見直しの意見が会員校から受けた。理事会で以下の2案を中心に検討開始。

- 案1「関東・甲信越(関東7都県、長野、新潟)」「中部・北陸(静岡、愛知、三重、岐阜、石川)」  
 案2 日臨技と共同開催事業(臨地実習指導者講習会、支部学会での学生フォーラムや中高生

ガイドンス)があり、日臨技の支部「首都圏」「関東・甲信」「中部圏」とする案もあるが、新潟県は日臨技の「北日本支部」に区分されているので、新潟県にある4校からの意見も伺い、区分を検討予定。

9) 令和7年度 定時総会日程

令和7年5月26日(月) 13時-16時30分予定

会場 Zoom

10) その他

なし

議長、議事録署名人の選出

議長に大瀧博文理事を選出し、議事録署名人は議長より松田洋和理事、多田達史理事が指名された。多田達史理事が急用で離席されたため、關谷暁子理事に交代となった。

議案審議

審議開始前に議長より、投票機能もしくはチャット機能で意思疎通が行えることの確認がなされた後、14時01分より審議を開始した。

第一号議案 日本臨床検査振興協議会

坂本理事長より、日本臨床検査振興協議会へは賛助会員ではなくオブザーバーとして参画とする提案があった。

審議の結果、出席正会員の過半数以上の賛成を得て、オブザーバーとして参画が承認された。

提案意図：賛助会員として正式に問い合わせを行ったところ、以下の回答を受ける。

1. 賛助会員は例えば企業等 金銭的な支援をいただく団体・個人を想定したものであるが、本会は営利団体では無いこともあり、費用負担の無いオブザーバーとして参画が望ましい。
2. 既に他団体から関連委員会へオブザーバーとして参画実績があり、本会からは将来想定されるビデオ撮影へ協力、大規模災害発生時の協力などが想定される。

第二号議案 令和7-8年度 理事・監事

小野川事務局長より令和7-8年度 理事・監事の候補者について、以下の報告と説明があり、審議の結果、出席正会員の過半数以上の賛成を得て、全員が承認された。

1. 教育年限に基づく推薦理事の人数

- 1) 4年制の教育施設に所属する理事 16人（所属変更に伴い+1）
- 2) 3年制の教育施設に所属する理事 4人（所属変更に伴い-1）

2. 地区に基づく推薦理事の人数

- 1) 北海道・東北地区 3人
- 2) 関東・中部・甲信越地区 9人
- 3) 近畿・中国・四国地区 6人
- 4) 九州・沖縄地区 2人

令和7-8年度 役員（理事・監事）候補者

連番	学校名	役員候補者氏名	教育年限		地区	備考
			4年	3年		
1	北海道医療大学	吉田 繁	○		北海道・東北	新任
2	吉田学園医療歯科専門学校	石岡 聡子		○	北海道・東北	新任
3	東北大学	高木 清司	○		北海道・東北	新任
4	埼玉医科大学	小野川 傑	○		関東・中部・甲信越	留任
5	昭和医療技術専門学校	山藤 賢		○	関東・中部・甲信越	留任
6	東京工科大学	吉田 祥子	○		関東・中部・甲信越	留任
7	東洋公衆衛生学院	山口 聡		○	関東・中部・甲信越	留任
8	北里大学	石井 直仁	○		関東・中部・甲信越	留任
9	新潟大学	富山 智香子	○		関東・中部・甲信越	留任
10	北陸大学	關谷 暁子	○		関東・中部・甲信越	留任
11	藤田医科大学	杉本 恵子	○		関東・中部・甲信越	新任
12	四日市看護医療大学	高崎 明彦	○		関東・中部・甲信越	留任
13	大阪大学	三善 英知	○		近畿・中国・四国	留任
14	関西医療大学	大瀧 博文	○		近畿・中国・四国	留任
15	神戸常盤大学	坂本 秀生	○		近畿・中国・四国	留任
16	神戸学院大学	中前 雅美	○		近畿・中国・四国	留任
17	山口大学	野島 順三	○		近畿・中国・四国	留任
18	香川県立保健医療大学	多田 達史	○		近畿・中国・四国	留任
19	九州大学	勝田 仁	○		九州・沖縄	留任
20	日本文理大学医療専門学校臨床検査学科	宮本 綾		○	九州・沖縄	新任
監事	日本医療科学大学	伊藤 昭三				任期中
	日本臨床衛生検査技師会	原田 典明				新任

※ 理事については5名が任期満了に伴う退任のため、新たに5名を推薦。

※ 監事については1名が任期満了に伴い退任のため、新たに1名を推薦。

### 第三号議案 理事長選挙結果

小野川事務局長より令和 7-8 年度 理事長選挙について以下の報告と説明があり、審議の結果、出席正会員の過半数以上の賛成を得て、新理事長として坂本秀生氏が承認された。

候補者が坂本秀生氏の 1 名のみであったことから、役員選考委員会内規 13 条に従い信任投票となった。選挙期間を令和 6 年 11 月 26 日から 29 日までの 4 日間を投票期間として電子投票を行い、令和 6 年 11 月 29 日に投票締切り、以下の開票結果であった。

投票率：87.5%（前回 82.8%）

有効投票率 66.7%（議決権者の 2/3）以上あり、選挙は成立  
坂本秀生氏が有効投票数の過半数を超えた。

その他

なし

### 議長解任

以上、予定していた報告及び審議事項を終え、Web 会議でも滞りなく進行できたことを確認し、14 時 20 分に終了した。

令和 6 年 12 月 19 日

代表理事(理事長) 坂本秀生 印

議事録署名人 松田洋和 印

議事録署名人 關谷暁子 印